

【フランス】2024年国民議会議員選挙の実施

海外立法情報課 奈良 詩織

* 2024年6月の欧州議会議員選挙での極右の勝利を受け、フランスで国民議会の解散と総選挙が行われた。野党の左派連合が勝利したものの、過半数を獲得することはできなかった。

1 フランスの国民議会議員選挙の制度概要

フランスの下院に当たる国民議会 (Assemblée nationale) の議員 (député) は直接選挙により選出され、解散が行われる場合を除いて任期は5年間である¹。選挙方法は小選挙区2回投票制を採用しており、第1回投票では、有効投票数の過半数かつ登録有権者数の25%以上の票を獲得した候補者が当選する。第1回投票で当選者がいない場合には、第1回投票の上位2名の候補者及び登録有権者数の12.5%以上の票数を獲得した候補者により、第2回投票を実施する。ただし、第2回投票の前に、政党間で選挙協力が行われることもある。第2回投票では、有効投票数の過半数を獲得した者が当選し、同数の場合には年長者が当選する。

2 2024年国民議会議員選挙の実施と結果

(1) 欧州議会議員選挙での極右の勝利と国民議会の解散

2024年6月上旬に実施された欧州議会議員選挙²において、フランスでは、バルデラ (Jordan Bardella) 党首及びル・ペン (Marine Le Pen) 氏が率いる「国民連合 (Rassemblement national: RN)」から成る極右勢力が圧勝した。この結果を受け、同月9日、マクロン (Emmanuel Macron) 大統領は、国民議회를解散し³、国民議会議員選挙の第1回投票を同月30日、第2回投票を同年7月7日に実施すると発表した⁴。マクロン大統領は、有権者に対して「自らにとって、また将来の世代にとって最も正しい選択すること」を信じていると訴えた。

(2) 第1回投票の結果

第1回投票 (投票率66.7%)⁵ではRNが勝利し、37議席を獲得した⁶。第2位は「不服従のフランス (La France Insoumise: LFI)」を始めとする左派連合 (Union de la gauche: UG)⁷で32

* 本稿におけるインターネット情報の最終アクセス日は、2024年9月9日である。

¹ 以下、選挙制度については“Les députés,” 2024.7.10. Ministère de l’intérieur et des outre-mer website <<https://www.lections.interieur.gouv.fr/comprendre-elections/pour-qui-je-vote/deputes>> を参照した。

² 同選挙の結果については、芦田淳「【EU】2024年欧州議会議員選挙の実施」『外国の立法』No.300-2, 2024.8, pp.14-15. <<https://doi.org/10.11501/13729935>> 参照。

³ 大統領は、首相及び上下両院議長に諮問した後、国民議会の解散を宣言することができる (フランス第五共和制憲法第12条)。なお、今回の解散は、第五共和制では6回目の解散である。直近3回 (1981年、1988年、1997年) は、大統領の与党と議会多数派が対立する「コアビタシオン (cohabitation)」を回避するために行われた。

⁴ “Adresse aux Français,” 2024.6.9. Elysée website <<https://www.elysee.fr/emmanuel-macron/2024/06/09/adresse-aux-francais-4>>

⁵ 直近2回の国民議会議員選挙の第1回投票の投票率は、2022年が47.5%、2017年が48.7%であった。今回の投票率の高さの背景には、国の将来をめぐる様々な争点、マクロン大統領に対する不満、極右に対する懸念があったとされる。Mattieu Goar, “Les principales leçons du scrutin,” *Le Monde*, 2024.7.2, p.6.

⁶ 以下、獲得議席数は内務省の集計結果を参照した。“Publication des candidatures et des résultats aux élections: Législatives 2024,” Ministère de l’intérieur et des outre-mer website <https://www.resultats-elections.interieur.gouv.fr/legislatives2024/ensemble_geographique/index.html>

⁷ 左派連合は「新人民戦線 (Nouveau Front populaire)」とも呼ばれ、LFIのほか、フランス共産党 (Parti communiste français)、社会党 (Parti socialiste)、ヨーロッパ・エコロジー＝緑の党 (Europe Ecologie-Les Verts) 等から成る。

議席、第3位はマクロン大統領率いる「再生（Renaissance）」を含む共同戦線「アンサンブル（Ensemble !: ENS）」⁸で2議席を、それぞれ獲得した。当選者が確定しなかった501の選挙区で第2回投票が実施されることとなった⁹。

RNの勝利を受け、ENSを始めとする諸陣営は、第2回投票でもRNが勝利し、下院多数派を形成することを警戒した。「再生」（ENS）のアタル（Gabriel Attal）首相（当時）やLFI（UG）のメランション（Jean-Luc Mélançon）党首は、特に選挙区内の第3位で第2回投票に進出した自らの陣営の候補者に対して、RN以外の候補者への票の分散を回避するために、第2回投票を辞退するよう促した¹⁰。この結果、UGは133名、ENSは82名の候補者が辞退した。

(3) 第2回投票の結果

第2回投票（投票率66.6%）では、ENSが148議席、UGが146議席をそれぞれ獲得した一方で、RNは88議席を獲得するにとどまった。合計獲得議席数では、第1位となったUGが178議席（改選前131議席）¹¹、RNが125議席（同89議席）とそれぞれ議席数を伸ばした一方で、ENSは150議席（同245議席）と議席数を大幅に減らした。

この結果を受け、アタル首相は7月16日付で辞任し、内閣も総辞職した。しかし、次期首相選びが難航したため、アタル前首相率いる前内閣が引き続き職務を遂行することとなった¹²。

なお、今回当選した議員のうち、女性は215名であり、全体の36%を占める¹³。年齢別では、20代が18名、30代が124名、40代が117名、50代が183名、60代が107名、70歳以上が28名であり、最年少の議員は22歳4か月、最年長の議員は81歳1か月である。

(4) 新首相の任命

9月5日、マクロン大統領は、共和党（Les Républicains）のバルニエ（Michel Barnier）氏を首相に任命した¹⁴。バルニエ氏は、1978年に国民議会議員に初めて選出されて以降、環境大臣¹⁵を始めとする4つの大臣職を歴任したほか、欧州委員会委員や同委員会委員長の特別顧問を務めた経験がある。2016年に始まったイギリスのEU離脱（Brexit）の交渉の際には、EU側の首席交渉官を務めた。なお、73歳のバルニエ氏は、第五共和制では最年長の首相となる。

⁸ ENSは、「再生」のほか、中道の「民主運動（Mouvement Démocrate）」や「地平線（Horizons）」から成る。

⁹ 第1回投票で確定したのは76議席であり、過去2回（2022年が5議席、2017年が4議席）と比較すると多い。

¹⁰ ただし、アタル首相は、急進左派であるLFIとの選挙協力を表明したわけではなく、LFIを「共和國的価値」と敵対する勢力と位置付けた上で、同じ選挙区内にUGの候補者を含め共和國的価値を共有する候補者がいることを条件として、第2回投票を辞退するよう促した。Robin D'Angelo et Claire Gatinois, "Front républicain: les tergiversations du camp Macron," *Le Monde*, 2024.7.2, pp.2-3.

¹¹ なお、改選前において、UGの名称は「新人民・環境・社会連合（Nouvelle union populaire écologique et sociale）」であり、政党の構成も異なる。"Les archives des élections en France." Ministère de l'intérieur et des outre-mer website <<https://www.archives-resultats-elections.interieur.gouv.fr/resultats/legislatives-2022/FE.php>>

¹² フランスの現行法令には、辞職した内閣の権限に関する規定を定めるものは存在しない。しかし、辞職した内閣は政治的性格の措置（新たな法律の制定等）を講ずることや公的機関や公共サービスに永続的な変更を加えることはできないが、既存の法律の適用に必要な命令等を出すことのほか、緊急事態を宣言し、大臣会議を開催することはできるとされる。Gary Dagorn et Romain Geoffroy, "De quels pouvoirs un gouvernement démissionnaire dispose-t-il ?" *Le Monde*, 2024.7.18, p.8.

¹³ "Élections législatives: les résultats du deuxième tour." Assemblée nationale website <<https://www.assemblee-nationale.fr/dyn/actualites-accueil-hub/elections-legislatives-les-resultats-du-deuxieme-tour>>

¹⁴ "Nomination du premier ministre: cinq choses à savoir sur Michel Barnier," 2024.9.5. *Le Figaro* website <<https://www.lefigaro.fr/politique/nomination-du-premier-ministre-cinq-choses-a-savoir-sur-michel-barnier-20240905>>

¹⁵ 環境大臣在任中に成立した、「環境保護の強化に関する1995年2月2日の法律第95-101号（Loi n° 95-101 du 2 février 1995 relative au renforcement de la protection de l'environnement）」（通称「バルニエ法（Loi Barnier）」）は、環境法上の一般原則や良好な環境への権利を定めるものとして評価されている。同法については、遠藤真弘「フランスにおける環境政策の発展」『レファレンス』No.875, 2023.11, pp.38-40. <<https://doi.org/10.11501/13113245>> 参照。